

(3) オタモイデイサービスセンター



オタモイデイサービスセンターでは、在宅生活の継続を主眼に、利用者の持つ潜在的な力や可能性を引き出せる個別ケアの充実を図り、安定した利用者数の確保と運営の安定に努めました。

1) 「収支の改善及び経営の安定」

平成 28 年度は、地域密着型通所介護へと移行し、利用者定員を 35 名から 18 名定員としておりますが、利用者数を減らせない事により、職員の人員調整も出来ず、人件費がかさみ、定員超過の減算と合わさる事により、大幅な支出となっておりましたが、平成 29 年度は、定員超過することなく、稼働率は 93.9%となりました。

人員調整や水道光熱費及び、事務用品等の消耗品を効率的に使用し、経費削減に努め、収支差額は、平成 28 年度と比較し、6,602 千円の改善となりました。

2) 「個別ケアとサービスの見直し」

主な活動としては、タオルたたみや洗濯物干しなどの日常生活動作訓練や、囲碁・将棋や絵画サークルなどの趣味活動、和紙工芸や手芸の作品作りを行い、個々の利用者様が、今まで経験してきた事を、出来るだけサービスに盛り込む事により、個別化が徹底できるようサービスを提供しました。

また、29 年度は、今まで別々の様式であった、アセスメント表・通所介護計画書・モニタリング評価表を、1 枚の様式にまとめ、事務負担の軽減を図ると共に、各表の関連が一目で確認できる事により、効果的にサービスが提供できるように、改善しました。

季節を感じられる行事として、春には、「お花見ドライブ」夏には、「屋外昼食会」秋は、「紅葉ドライブ」、年末年始に「餅つき会」「クリスマス会」や「新年会」を実施しました。

3) 「スタッフの資質向上と組織力の強化」

今年度も、理念研修・認知症研修・リスクマネジメント研修・感染症予防研修等を受講しました。

研修は、法人の研修や職員会議後に行う内部研修、小樽市デイサービスセンター連絡協議会主催の研修等に参加し、職員全体の資質の向上を図りました。

4) 地域・家族・ボランティアへの情報提供と連携の強化

地域密着型事業として「可能な限り住み慣れた地域で、自分らしく暮らしていける」地域包括ケアシステムの実現にむけて、地域の代表やご家族及び、利用者代表に参加していただき「運営推進会議」を 10 月と 2 月に実施しました。

10 月の運営推進会議にて、「利用満足度等に対するアンケートを実施してはどうか？」とのご意見をいただき、11 月に実施し、2 月の運営推進会議の際に、アンケート結果にてご報告しました。